

(様式第1号別紙1-1)

介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	研修全体の構成、各研修科目相互の関連性について学ぶ	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護に関する専門職種の職務内容を理解し、介護業務に関する実務を経験する	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	① 人権と尊厳を支える介護	尊厳を支えるケアや生活支援の在り方の知識を学ぶと共に、虐待防止、権利擁護、成年後見制度について学ぶ	(2)-①
	② 自立に向けた介護	自立支援や重度化防止の視点に立脚した介護方法論を学ぶ	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	介護職の業務内容、およびチームケアについて学ぶ	(3)-①
	②介護職の職業倫理	介護職の職業人としての倫理、自己管理について学ぶ	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護サービスに伴うリスクマネジメントについて学ぶ	(3)-③
	④介護職の安全	介護職の健康管理について学ぶ	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	① 介護保険制度	各法に関する知識及び制度とサービスについて詳細に学ぶ	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	リハビリテーション医療の知識や医療看護や地域と連携した介護方法について学ぶ	(4)-②
	③障害者福祉制度およびその他制度	介護保険法や障害者総合支援法など、最近の動向およびサービス利用について学ぶ	(4)-③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	高齢者、障害者（児）の心理を踏まえたうえで、コミュニケーション技術について学ぶ	(5)-①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	介護にかかわる専門職種の職務内容を理解し、チームケアの必要性を学ぶ	(5)-②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	加齢と老化に伴う心身の変化、障害、疾病について学ぶ	(6)-①

(様式第1号別紙1-1)

介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	研修全体の構成、各研修科目相互の関連性について学ぶ	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護に関する専門職種の職務内容を理解し、介護業務に関する実務を経験する	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	① 人権と尊厳を支える介護	尊厳を支えるケアや生活支援の在り方の知識を学ぶと共に、虐待防止、権利擁護、成年後見制度について学ぶ	(2)-①
	② 自立に向けた介護	自立支援や重度化防止の視点に立脚した介護方法論を学ぶ	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	介護職の業務内容、およびチームケアについて学ぶ	(3)-①
	②介護職の職業倫理	介護職の職業人としての倫理、自己管理について学ぶ	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護サービスに伴うリスクマネジメントについて学ぶ	(3)-③
	④介護職の安全	介護職の健康管理について学ぶ	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	① 介護保険制度	各法に関する知識及び制度とサービスについて詳細に学ぶ	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	リハビリテーション医療の知識や医療看護や地域と連携した介護方法について学ぶ	(4)-②
	③障害者福祉制度およびその他制度	介護保険法や障害者総合支援法など、最近の動向およびサービス利用について学ぶ	(4)-③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	高齢者、障害者（児）の心理を踏まえたうえで、コミュニケーション技術について学ぶ	(5)-①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	介護にかかわる専門職種の職務内容を理解し、チームケアの必要性を学ぶ	(5)-②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	加齢と老化に伴う心身の変化、障害、疾病について学ぶ	(6)-①

	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食時に関連した用具・食器の活用方法、楽しい食事の阻害要因などについて学ぶ	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴、清潔保持に関する基礎知識、入浴用具、整容用具の活用方法、楽しい入浴の阻害要因などについて学ぶ	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排せつに関する基礎知識、排せつ環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排せつの阻害要因などについて学ぶ	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、睡眠環境と用具の活用、快い睡眠の阻害要因などについて学ぶ	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識、心と体の仕組み、生から死への過程、死に向き合う心の理解などについて学ぶ	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習 (10～12 時間)】		
	⑬介護過程の基礎的理解	実習を通じて、介護過程の目的、意義、展開や介護過程とチームアプローチについて学ぶ	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	実習を通じて、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点について学ぶ	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	① 振り返り	研修全体の構成、各研修科目相互の関連性について振り返り、学びの再確認をおこなう	(10)－①
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	修了後も継続して学ぶべき知識や技術の体系を再掲し、今後何を継続的に学習すべきかを理解する	(10)－②

※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。

※2 実習を実施するにあたっては、本要綱「14 実習」の内容に留意すること。